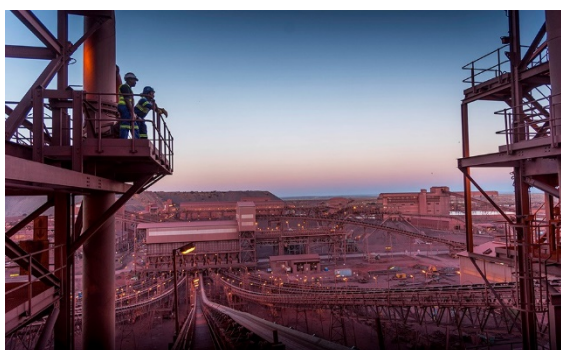


日本製鉄とアングロ・アメリカン、脱炭素ソリューションに関する覚書を締結

日本製鉄株式会社(以下、日本製鉄)とアングロ・アメリカン社(以下、アングロ・アメリカン)は、アングロ・アメリカンの鉄鉱石の最適利用によるCO₂排出量削減など、カーボンニュートラル製鉄への移行を加速するためのソリューションを共同で検討・議論する為の覚書を締結しました。

両社は、本覚書に基づき、アングロ・アメリカンの高品位鉄鉱石の最適利用による現行の高炉プロセスにおけるCO₂排出量削減に加え、より環境負荷の低い直接還元プロセスにおけるアングロ・アメリカンの高品位鉄鉱石の使用に関する研究にも重点を置く予定です。



選鉱プラントの写真



高品位鉄鉱石の写真

2021年3月、日本製鉄は、気候変動問題に対する独自の取り組みとして、「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050」を公表し、2050年までのカーボンニュートラルの実現を経営の最重要課題と位置付け、諸対策の検討・実行を図っています。2030年においては、現行の高炉・転炉プロセスでのCOURSE50の実機化、既存プロセスの低CO₂化、効率生産体制構築等によって、対2013年比▽30%のCO₂排出削減を実現します。2050年に向けては、電炉による高級鋼の量産製造、Super COURSE50等の高炉水素還元法の開発を通じたCO₂の抜本的削減、水素による直接還元鉄製造などの超革新的技術にチャレンジし、CCUS等によるカーボンオフセット対策なども含めた複線的なアプローチでカーボンニュートラルを目指します。

2021年10月、アングロ・アメリカンは、気候変動報告書を発行し、2040年までにスコープ3の炭素排出量を50%削減するという高い目標を掲げ、同年までに全ての事業においてカーボンニュートラルを達成するという既存の公約を更に発展させました。同報告書では、より効率的で低炭素生産プロセスに対応する高品質製品の開発、効率性の向上と排出量の最小化、脱炭素化への取り組みを加速させるための顧客との協力など、複層に亘るアプローチを打ち出しています。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

NET ZERO

を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

以 上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-3419

Make Our Earth Green  NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative
NET ZERO